



「ROOF Innovation」から 「EXTERIOR Innovation」へ

— 外装材全体の新たな価値創出を目指して —

当社は、2003年12月にクボタと松下電工(現パナソニック)の外装建材事業を統合し屋根材・外壁材・雨といの外装材をトータルに扱う国内唯一の企業として設立いたしました。設立以来、「暮らしをまもる 住まいを魅せる」のスローガンのもと、軽い屋根材・外壁材による建物の耐震性向上や、無機塗装や光触媒技術による建材の美しさ向上と長寿命化など、独自技術を活かした製品やサービスの提供を通じて、日本の住環境の向上に貢献してまいりました。またサステナブルな社会の実現に向けては、資源循環型のモノづくりや生産活動におけるCO₂削減、使用エネルギーの削減など環境負荷低減にも積極的に取り組んでいます。

今、社会はまさに大きな変化の時代を迎えています。地球温暖化の影響による自然災害が増加し、被害も激甚化しています。この気候変動問題への対応を喫緊の課題に、世界が2050年カーボンニュートラルの実現に向け大きく舵を切りはじめています。また、新型コロナウイルス感染症は、誰もが予想し得なかった危機を世界中にもたらしました。さらに、日本国内では、高齢化社会の到来や人口減少による労働力不足など、様々な問題が深刻化しています。

このような大きな社会変化に対応すべく、当社は「安全・安心」「美しさと長寿命」「職人不足」「環境問題」という4つの社会的課題にフォーカスし、これらの解決に向けた製品や技術の革新に取り組んでいます。

昨年はカラーベスト60周年を機に、屋根材の新しい価値創出により課題解決を目指す『ROOF Innovation』をスタートしました。今年にはさらに、外装材全体の新たな価値創出を目指した『EXTERIOR Innovation』を開始、まず「外壁ルネサンス」として、外壁材の革新に取り組みます。長年培ってきた技術をさらに進化させることにより、深彫りによる美しい意匠、色40年品質、光触媒による抗菌・抗ウイルスという3つの革新をもたらし、新しい時代に求められる外壁材「新生光セラ18」を誕生させました。この新たな外壁材によって住宅のさらなる高品質化・高機能化を推進し、暮らしの「安全・安心」「美しさと長寿命」を実現してまいります。

当社は今後も、刻々と変わる社会のニーズを捉えた新しい価値を持つ製品・サービスをお届けするとともに、生産活動などの企業活動プロセスの革新にも積極的に取り組むことで、社会的課題の解決と業界の発展、そして環境保全に貢献していく所存です。日本の、そして世界の外装をかえていくこれからのケイミューにどうぞご期待ください。

本報告書は、当社の2020年度の環境配慮への取り組み内容と成果についてまとめたものです。本報告書を通して当社の考え方や取り組みについてご理解をいただくとともに、皆様の一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

代表取締役社長 木村 均

「クボタ」と「松下電工(現パナソニック)」。
住宅用外装建材のトップクラスが融合し、ケイミューへ。

1890 株式会社クボタ

1918 松下電工株式会社(現パナソニック株式会社)

2003 クボタ松下電工外装株式会社 発足

2010 「ケイミュー株式会社」に社名変更